



Nihon Clinic

日本クリニック

July, 2014

今月の健康ニュースレター



◆◆◆ 胃カメラ開始のお知らせ ◆◆◆



統計によると、日本人の胃癌発生率は男性で第1位、女性で第3位と上位を占めています。一方、アメリカ人の胃癌発生率は第14位と決して高くありません。したがって、上部消化管の検診は日本人にとって非常に重要になります。

日本国内での上部消化管の検診は、胃バリウム検査と胃カメラ検査が広く行われています。早期に発見するためのスクリーニングの方法として、胃バリウム検査が主に日本人の手により開発、改良されてきました。また、病変を直接観察する胃カメラ検査は、早期の食道癌や胃癌の発見率が高くなります。



**当院では検診（スクリーニング）目的の胃カメラを
7月より開始いたします。**

米国内の日本クリニック

CHICAGO

(847) 952-8910

NEW YORK

(212) 575-8910

SAN DIEGO

(858) 560-8910

Nihon Clinic

2010 S. Arlington Heights Road, Suite 101
Arlington Heights, IL 60005

予約: (847) 952-8910

内科: (847) 758-8080

小児科: (847) 640-5437

カイロ科: (847) 956-3250

ウェブサイトもご利用下さい。

Website: www.nihonclinic.com

E-mail: Chicago@nihonclinic.com



当院では、経鼻胃カメラ検査、及び経口胃カメラ検査どちらも行います。アメリカでは、全身麻酔薬や鎮痛薬で患者様を眠らせるのが一般的ですが、経鼻胃カメラ検査では、「オエッ」という嘔吐反射がないため、全身麻酔薬や鎮痛薬の投与を行う必要がありません。

- 経口胃カメラ希望の方には、日本で一般的に行われている全身麻酔や鎮静剤無しでの検査を行います。
- 経鼻胃カメラ希望の方で、鼻の痛み等で検査が困難な場合には、途中で経口胃カメラ検査（睡眠導入剤無し）に変更することも可能です。

※治療目的（ポリープ切除など）の胃カメラ検査は行いませんので、ご了承ください。

◎治療の可能性ある方は専門医をご紹介しますので、ご相談ください。

必要に応じて、粘膜組織の一部を鉗子でつまみ、組織の検査を行う場合があります。

胃カメラについての詳細は、日本クリニックのウェブサイトをご覧ください。

ウェブサイト/ www.nihonclinic.com

